



平成30年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年3月1日

上場会社名 株式会社伊藤園 上場取引所 東
 コード番号 2593 URL <http://www.itoen.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 本庄 大介
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 平田 篤 (TEL) 03-5371-7197
 四半期報告書提出予定日 平成30年3月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年4月期第3四半期の連結業績（平成29年5月1日～平成30年1月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年4月期第3四半期	376,371	3.2	16,312	△5.9	15,846	△9.8	8,949	△22.6
29年4月期第3四半期	364,618	2.5	17,329	45.6	17,575	51.4	11,564	68.4

(注) 包括利益 30年4月期第3四半期 10,196百万円 (△21.2%) 29年4月期第3四半期 12,934百万円 (84.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年4月期第3四半期	71.69	71.51
29年4月期第3四半期	92.77	92.54

(注) 上記の1株当たり情報は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る1株当たり情報については、以下（参考）をご覧ください。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年4月期第3四半期	288,135	141,512	48.7
29年4月期	302,405	136,709	44.8

(参考) 自己資本 30年4月期第3四半期 140,397百万円 29年4月期 135,520百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年4月期	—	20.00	—	20.00	40.00
30年4月期	—	20.00	—	—	—
30年4月期（予想）	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注) 上記の配当の状況は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る配当の状況については、以下（参考）をご覧ください。

3. 平成30年4月期の連結業績予想（平成29年5月1日～平成30年4月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	492,800	3.6	22,000	1.0	20,900	△2.9	12,350	△9.8	98.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

(注) 上記の連結業績予想における1株当たり情報は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る1株当たり情報については、以下（参考）をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年4月期3Q	89,212,380株	29年4月期	89,212,380株
② 期末自己株式数	30年4月期3Q	501,542株	29年4月期	519,379株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年4月期3Q	88,702,763株	29年4月期3Q	88,680,982株

(注) 上記の発行済株式数は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る発行済株式数については、以下（参考）をご覧ください。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考)

(1) 第1種優先株式に係る1株当たり情報(累計)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年4月期第3四半期	76.69	76.51
29年4月期第3四半期	97.77	97.54

(2) 第1種優先株式に係る配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年4月期	—	25.00	—	25.00	50.00
30年4月期	—	25.00	—		
30年4月期(予想)				25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

(3) 第1種優先株式に係る連結業績予想の1株当たり情報

	1株当たり当期純利益 (連結)
	円 銭
通期	108.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

(4) 第1種優先株式に係る発行済株式数

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年4月期3Q 34,246,962株 29年4月期 34,246,962株

② 期末自己株式数

30年4月期3Q 466,763株 29年4月期 459,928株

③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年4月期3Q 33,783,347株 29年4月期3Q 34,134,222株

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要があるものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されます。

飲料業界におきましては、消費者マインドに持ち直しが見られるものの、競合各社による激しい販売競争により、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは経営理念であります「お客様第一主義」のもと、当社グループを取り巻く全てのお客様に対し「お客様が今でもなお何を不満に思っているか」を常に考え、グループ一丸となって積極的な事業活動を行ってまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高3,763億71百万円（前年同期比3.2%増）、営業利益163億12百万円（前年同期比5.9%減）、経常利益158億46百万円（前年同期比9.8%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、89億49百万円（前年同期比22.6%減）となりました。

売上高	3,763億71百万円（前期比3.2%増）
営業利益	163億12百万円（前期比5.9%減）
経常利益	158億46百万円（前期比9.8%減）
親会社株主に帰属する四半期純利益	89億49百万円（前期比22.6%減）

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

<リーフ・ドリンク関連事業>

国内においては、茶葉（リーフ）製品につきまして、厚生労働省認定の「伊藤園ティーテイスター」を取得している茶師による実演販売「大茶会」を全国の店頭で実施し、お茶のおいしさ、楽しみ方等をお伝えしております。また、選りすぐった日本全国の希少なこだわり茶葉（緑茶・紅茶・ウーロン茶）をはじめ、茶畑単位で考えたシングルオリジン（単一品種・単一生産者）のお茶を取り揃えた、お茶の生産農家とお客様を繋いでいく、日本の伝統茶文化を感じていただける直営店舗を出店するなど、専門店においてもお茶の楽しみ方を積極的に伝えてまいります。このような取組みを通して、日本茶リーフ市場の更なる活性化を図ってまいります。

飲料（ドリンク）製品につきましては、主力製品であります「お〜いお茶」において、本年春も、季節限定の桜パッケージを展開してまいります。日本の春の象徴である「桜」と、各都道府県の「地元の誇り」を「お〜いお茶」を通してご紹介するとともに、今後も更なるブランド価値向上を図ってまいります。

日本茶・健康茶におきましては、ノンカフェイン茶系飲料No.1である「健康ミネラルむぎ茶」が、年間を通して、おいしくミネラルと水分補給ができる商品として、好調に推移しております。

コーヒー飲料におきましては、「TULLY'S COFFEE」ブランドシリーズがボトル缶コーヒー市場を牽引する存在として、引き続きご好評をいただいております。

当社は、従来から一部製品において賞味期限の「年月表示」への移行を行ってまいりましたが、本年1月より対象製品を拡大し、順次移行を実施しております。この取組みにより、全アイテムの約8割が「年月表示」となり、食品ロスの軽減・物流効率化に伴うCO2排出量の削減による「環境負荷軽減」および店舗や倉庫での管理対象ロット数の減少や保管スペース縮小などの作業効率化による「生産性向上」が期待できます。

チチヤス(株)においては、広島県を中心とした乳類および発酵乳等の積極的な販売に加え、当社との共同開発によるブランドシナジーを拡大しております。また、ネオス(株)は、西日本に強い販売チャネルを持っており、当社グループの自動販売機事業に関して、継続的に収益性を高める基盤づくりを行っております。

海外においては、茶葉（リーフ）製品につきまして、「グローバルブランド」で展開する「MATCHA GREEN TEA」の販売により、米国、豪州、東南アジアを中心に積極的な海外展開を行ってまいりました。

飲料（ドリンク）製品につきましては、ITO EN(North America) INC. において、和食や抹茶の世界的ブームや健康志向の高まりを背景に、「お〜いお茶」などの無糖茶飲料が順調に売上を伸ばしております。また、米国を中心にコーヒー豆の栽培から販売までを行うDistant Lands Trading Company, Inc. においては、主要顧客であるフードサービスチェーンへの当社グループ製品の販売など、引き続きシナジー効果を追求してまいります。

この結果、リーフ・ドリンク関連事業の売上高は3,469億36百万円（前年同期比2.8%増）となり、営業利益は138億75百万円（前年同期比7.5%減）となりました。

<飲食関連事業>

タリーズコーヒージャパン(株)におきましては、今年で8年目のアイリッシュラテが好調なことに加え、ティー商品も好調で、特に、「ストロベリーロイヤルミルクティー」はご好評をいただきました。また、フード類では、「ボールパークドッグ」「クラシックパンケーキ」などが、ご好評をいただいております。新規出店も順調に進

み、総店舗数は696店舗になりました。引き続き積極的な投資とあわせて既存店舗の改装などによる活性化を図り、店舗競争力を強化することで、スペシャルティコーヒーショップとしての更なるブランド強化を図ってまいります。

この結果、飲食関連事業の売上高は246億24百万円（前年同期比7.5%増）となり、営業利益は27億7百万円（前年同期比2.1%増）となりました。

<その他>

売上高は48億10百万円（前年同期比11.5%増）となり、営業利益は6億75百万円（前年同期比9.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は次のとおりであります。

(イ) 資産

総資産は2,881億35百万円となり、前連結会計年度末と比較して142億70百万円減少いたしました。主な変動要因といたしましては、「現金及び預金」が31億4百万円減少、「受取手形及び売掛金」が75億17百万円減少、流動資産の「その他」が未収入金の減少などにより41億14百万円減少したことによるものです。

(ロ) 負債

負債は1,466億23百万円となり、前連結会計年度末と比較して190億73百万円減少いたしました。主な変動要因といたしましては、「支払手形及び買掛金」が87億73百万円減少、「未払法人税等」が21億6百万円減少、「リース債務」が42億92百万円減少したことによるものです。

(ハ) 純資産

純資産は1,415億12百万円となり、前連結会計年度末と比較して48億2百万円増加いたしました。主な変動要因といたしましては、「利益剰余金」が「親会社株主に帰属する四半期純利益」により89億49百万円増加し、「剰余金の配当」により52億37百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結会計期間におきまして、全国的な低温と大雪等天候不順の影響による販売不振や、急激な円高進行による保有外貨建資産の評価損を計上しております。また、平成29年12月22日に米国において成立した税制改革法により、米国子会社の繰延税金資産及び繰延税金負債の再測定等を行った結果、法人税等7億49百万円を追加計上しております。これらの影響により、平成29年6月1日発表の通期連結業績予想数値を以下の通り修正しております。

なお、配当予想につきましては、前回発表予想に変更はございません。

平成30年4月期通期連結業績予想数値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益 (普通株式)	1株当たり 当期純利益 (優先株式)
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭	円 銭
前回発表予想 (A)	492,500	22,600	22,000	14,000	111.55	121.55
今回修正予想 (B)	492,800	22,000	20,900	12,350	98.07	108.07
増減額 (B-A)	300	△600	△1,100	△1,650		
増減率 (%)	0.1	△2.7	△5.0	△11.8		
(ご参考) 前期実績 (平成29年4月期)	475,866	21,774	21,524	13,693	108.77	118.73

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	64,202	61,098
受取手形及び売掛金	54,677	47,159
商品及び製品	30,718	30,196
原材料及び貯蔵品	7,181	7,979
その他	17,978	13,864
貸倒引当金	△99	△68
流動資産合計	174,657	160,229
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	20,987	21,208
土地	21,587	21,791
リース資産(純額)	27,889	24,618
その他(純額)	12,574	16,821
有形固定資産合計	83,039	84,440
無形固定資産		
のれん	18,371	17,067
その他	6,082	5,340
無形固定資産合計	24,454	22,408
投資その他の資産		
その他	20,540	21,339
貸倒引当金	△285	△283
投資その他の資産合計	20,254	21,056
固定資産合計	127,748	127,905
資産合計	302,405	288,135
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,061	24,288
短期借入金	2,364	2,224
リース債務	8,995	7,459
未払費用	25,297	23,319
未払法人税等	4,490	2,383
賞与引当金	3,549	1,768
その他	3,802	4,283
流動負債合計	81,560	65,727
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	47,433	46,315
リース債務	13,468	10,710
退職給付に係る負債	9,455	9,848
その他	3,778	4,020
固定負債合計	84,135	80,895
負債合計	165,696	146,623

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年1月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,912	19,912
資本剰余金	18,644	18,645
利益剰余金	102,750	106,463
自己株式	△1,983	△1,959
株主資本合計	139,323	143,061
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,133	2,925
土地再評価差額金	△6,053	△6,053
為替換算調整勘定	747	1,006
退職給付に係る調整累計額	△629	△542
その他の包括利益累計額合計	△3,802	△2,663
新株予約権	66	79
非支配株主持分	1,122	1,034
純資産合計	136,709	141,512
負債純資産合計	302,405	288,135

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成29年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成30年1月31日)
売上高	364,618	376,371
売上原価	192,621	198,485
売上総利益	171,997	177,885
販売費及び一般管理費	154,667	161,572
営業利益	17,329	16,312
営業外収益		
受取利息	36	54
受取配当金	65	68
為替差益	573	—
持分法による投資利益	72	120
その他	444	437
営業外収益合計	1,192	680
営業外費用		
支払利息	683	512
為替差損	—	348
その他	262	285
営業外費用合計	946	1,147
経常利益	17,575	15,846
特別利益		
固定資産売却益	11	9
固定資産受贈益	12	23
投資有価証券売却益	20	0
その他	—	0
特別利益合計	44	33
特別損失		
固定資産廃棄損	18	38
投資有価証券評価損	0	—
投資有価証券売却損	0	—
減損損失	150	237
その他	6	1
特別損失合計	175	278
税金等調整前四半期純利益	17,443	15,600
法人税等	5,719	6,579
四半期純利益	11,724	9,021
非支配株主に帰属する四半期純利益	159	71
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,564	8,949

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成29年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成30年1月31日)
四半期純利益	11,724	9,021
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	286	676
繰延ヘッジ損益	45	—
為替換算調整勘定	783	291
退職給付に係る調整額	99	87
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	119
その他の包括利益合計	1,210	1,175
四半期包括利益	12,934	10,196
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,795	10,089
非支配株主に係る四半期包括利益	138	107

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間（自 平成28年5月1日 至 平成29年1月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	合計
	リーフ・ ドリンク 関連事業	飲食関連 事業	その他	合計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	337,404	22,900	4,314	364,618	—	364,618
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	296	14	1,945	2,255	△2,255	—
計	337,700	22,914	6,259	366,874	△2,255	364,618
セグメント利益	15,006	2,651	616	18,274	△945	17,329

(注) 1 セグメント利益の調整額は、のれんの償却額△1,107百万円、セグメント間取引161百万円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間（自 平成29年5月1日 至 平成30年1月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	合計
	リーフ・ ドリンク 関連事業	飲食関連 事業	その他	合計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	346,936	24,624	4,810	376,371	—	376,371
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	291	16	2,260	2,569	△2,569	—
計	347,228	24,640	7,071	378,940	△2,569	376,371
セグメント利益	13,875	2,707	675	17,258	△945	16,312

(注) 1 セグメント利益の調整額は、のれんの償却額△1,124百万円、セグメント間取引179百万円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。